

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	短時間正規雇用等看護職員の多様な勤務形態導入支援事業	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～	担当課室	看護課	課長：岩澤和子			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	・平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	看護職員確保対策における看護職員の離職防止の一環として、出産や育児・介護など個々のライフステージに対応し働き続けられる就労環境の整備に必要な、短時間正規雇用等多様な勤務形態の導入に対する支援や、医療事故への不安などの看護職員の有する様々な悩みに対応する総合相談窓口の設置を行い、医療機関における人材の確保・定着を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①総合相談窓口設置事業 補助先：都道府県 補助率：定額 ②アドバイザー派遣事業 補助先：都道府県 補助率：定額 ③多様な勤務形態導入研修事業 補助先：都道府県 補助率：定額 ④就労環境改善支援事業 補助先：都道府県(間接補助先：医療機関(国立、独法、国大法人を除く)) 補助率：1/2(国1/2、都道府県1/2以内、事業主1/2以内)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算			93	36	
		繰越し等					
		計			93	36	
	執行額			12			
	執行率(%)			12.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	看護職員の有する様々な悩みに対応する事が成果目標であり、これは定量的な実績として示せるものではない。	成果実績		—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	就業環境改善支援事業実施数	活動実績 (当初見込み)	カ所	—	—	7 ( ) ( )	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	多様な勤務形態導入研修事業実施数	活動実績 (当初見込み)	カ所	—	—	7 ( ) ( )	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	相談・アドバイザー派遣事業実施数	活動実績 (当初見込み)	カ所	—	—	3 ( ) ( )	—
単位当たりコスト	713,882(円/事業)	算出根拠	1事業当たりコスト				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	相談窓口設置経費	15	0	「医療提供体制推進事業」に統合			
	指導者派遣経費	3	0				
	多様な勤務形態導入経費	9	0				
	就労環境改善支援事業経費	9	0				
	計	36	0				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	本事業については、平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性も認められるところではあるが、更なる予算の効率化を図るため、執行の弾力化等の見直しを行う必要がある。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補助先である都道府県の裁量で事業の重点化を図り、予算の弾力的な執行が可能な仕組みを推進することにより、更なる予算の効率化を行う。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成22年11月16日(火)に実施された事業仕分け第3弾において、医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)は予算要求の縮減(半額)とされた。			

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

厚生労働省  
93百万円

A. 10道県12百万円  
(補助額1位: 奈良県 4百万円)

医療機関において看護職員の多様な勤  
務形態の整備を促進し、医療機関におけ  
る看護職員の離職防止等を図る

B. 奈良県の民間3病院  
3.5百万円  
(補助額1位: 済生会中和病院1.2百万円)

看護職員の多様な勤務形態の整備を促  
進し、看護職員の離職防止等を図る

A.奈良県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図	12			
計		12	計		0
B.済生会中和病院			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
報償費	講師謝金、調査員謝金	0.8			
旅費	セミナー参加旅費	0.3			
需用費	印刷代	0.1			
計		1.2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	奈良県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	3.5		
2	長野県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	2.3		
3	北海道	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	1.6		
4	茨城県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	1.4		
5	愛知県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	1.2		
6	香川県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	1.1		
7	石川県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	0.4		
8	滋賀県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	0.1		
9	山梨県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	0.1		
10	佐賀県	医療機関において看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、医療機関における看護職員の離職防止等を図る	0.1		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	済生会中和病院	看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、看護職員の離職防止等	1.2		
2	辻村病院	看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、看護職員の離職防止等	1.2		
3	平成記念病院	看護職員の多様な勤務形態の整備を促進し、看護職員の離職防止等	1.1		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					